

アコーディオン奏者

## かとう かなこ

## 「パワーあふれるライブに」

アコーディオン奏者のかとうかなこが、五月下旬に、道内では初めてのホールコンサートツアーを行う。曲目は昨年リリースしたアルバム「ひだまり」(スタボソレコード)を中心に、ミユセツト(舞曲の一種)やオリジナル曲など。サボートミュージシャンに、ペテランの笹子重治(ギター)、向島ゆり子(バイオリン)を迎え、「それぞれ個性的なミュージシャンなので、パワーあふれるライブになると思います」と意気込む。

## 来月、初の道内ツアー

かとうは大坂府豊中市出身の二十六歳。四歳からアコーディオンを始め、十七歳で全日本アコーディオンコンクール総合優勝。高校卒業後、フランスに渡り、パリ市立音楽院などで学んだ。二〇〇一年に帰国後は、日本国内で本格的に音楽活動を開始した。

「ひだまり」は、従来のアコーディオン音楽よりも、とても軽やかでかわいらしい印象。ミユセツトもあるが、よりポップな音だ。「軽やかと言われるのは嬉しいのせいなのかもしれない。今できることを今やっています。最終的にはオリジナルをどんどん書いていきたい」

道内ツアーの日程は次の通り。

▽5月19日(金)午後7時、札幌・時計台ホール(中央区北1西2)。3500円(前売り3000円)▽21日(土)午後7時、小樽市立文学館(色内1)2500円(2000円)▽22日(日)午後8時半、柳広・ランチョ・エルパソ(西16南6)。2800円(2500円)いずれも問い合わせはキコキコ商店☎011・521・0098。



「同世代の人たちにもアコーディオンを身近に感じてほしい」と話すかとうかなこ